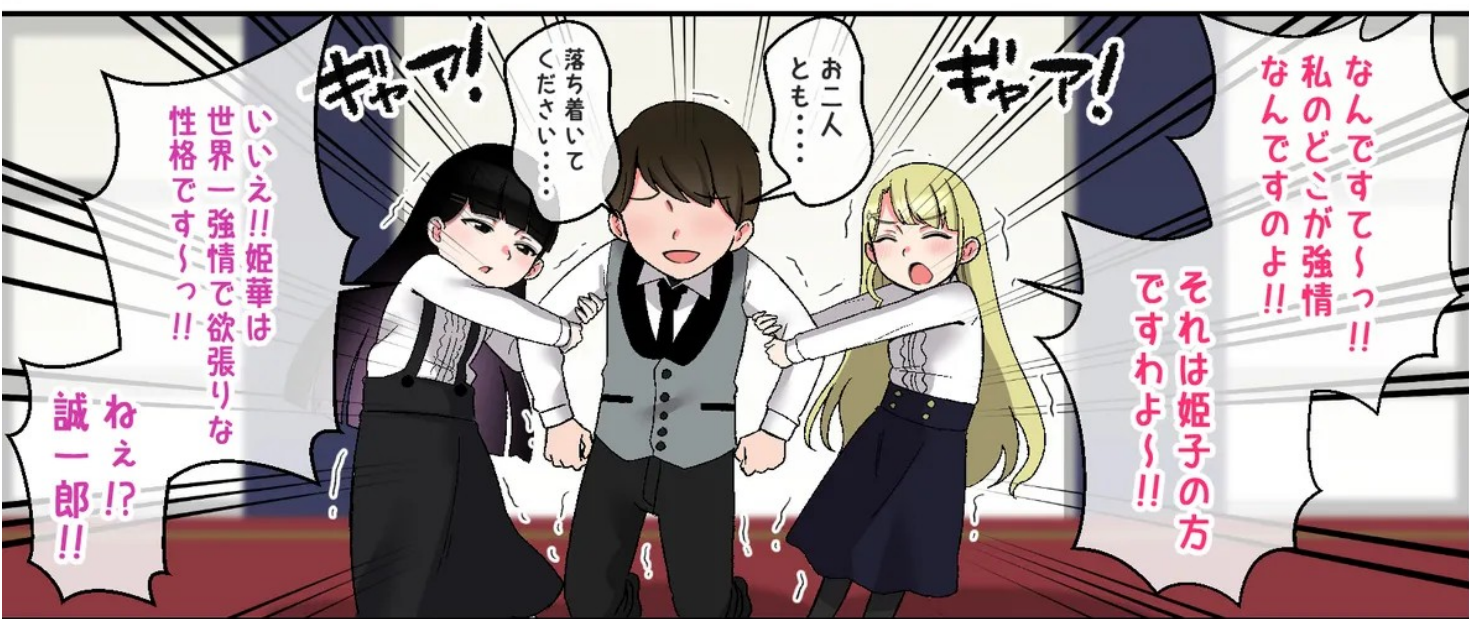


フルカラー
42p

でかムチお嬢様姉妹

どちらかの専属執事になるまで
毎日追われ、搾り取られるボク♡





それから
月日は流れて……

姫子!! いい加減に
諦めたらどうなん
ですよ!?

誠一郎は私の
専属執事になるん
ですよ?

はあ……
姫華もしつこい
わね……

誠一郎は私の
専属執事になるって
決まってるのよ?

決まってるって
何を根拠に言ってる
のかしら……?

まったく本当に
あなたってば
往生際が悪い子
ですわ

その言葉
そっくりそのまま
返すわ姫華……

まったく……
強欲さだけが
大きくなって
しまってる……

なんですって!?

ただその成長に
僕は心を落着かせる
暇ありません……

お二人は立派に
成長されました

『天上院財閥』

日本だけでなく
世界でも有数な
財閥のひとつ

この財閥には
美しく魅力的な
姉妹令嬢がいる

姉妹は双子だが
容姿が対称的で
有名だった

オーホッホッホッ

『天上院姫子』

すんすん

『天上院姫華』

双子の姉で西洋人の母の
血を色濃く受け継いだ容姿の
持ち主

傲慢で強情。派手なことを好む
典型的なわがままお嬢様な
性格をしている

姫華の双子の妹で
姫華と違い美しい黒髪が
特徴の容姿の持ち主

一見おしとやかそうに
見えるがその実狡猾で
有無を言わさぬ圧を持つ

そんな姉妹が
幼い頃から仕えている
執事「誠二郎」

2人を主として
そして兄妹のように
大切に思っており
どちらにも平等に
尽くす事を心掛けて
いる……

色々と成長した
2人とは対称的に
容姿や体格にまったく
変化が見られず……

年々激しさを増す
2人の奪い合いに
苦勞の日々が続くが

そんな彼に
今最大の試験が
訪れようとしていた

えっ!?

どちらか一方の
専属執事になる事を
今度こそ決めろ……?!

お……お言葉ですが
姫華お嬢様……
姫子お嬢様……
何度も申し上げてます
ように……

僕はお二人にこれまで
平等にお仕えしてきた
つもりです……

そしてそれは
これから変えるつもりは
ございません……

誠一郎……
あなたの気持ちは
わかってるつもりですけど……

そうも言われてられなく
なりましたのよ……?!

これはお父様が
決められた事
ですの……

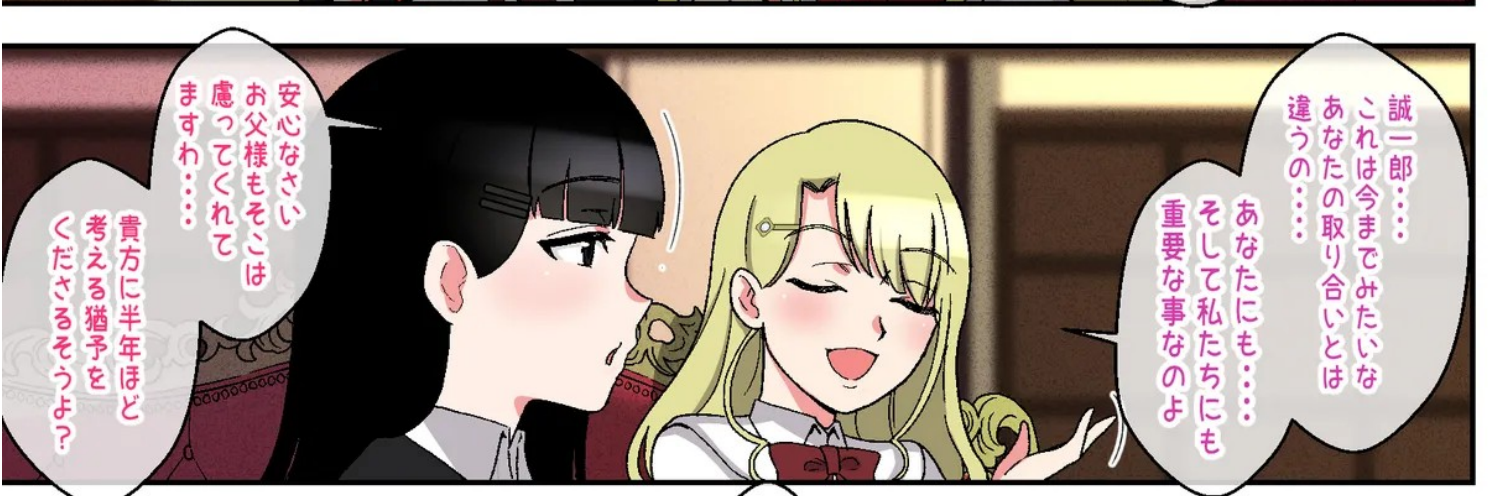
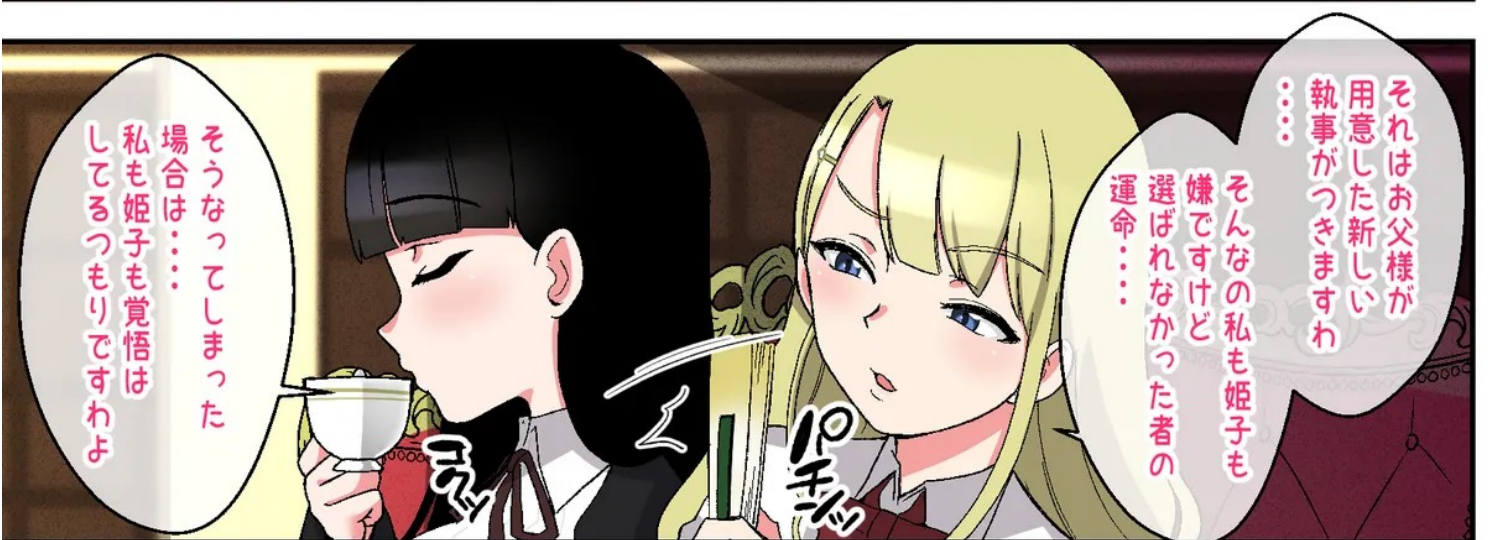
だ……
旦那様が……!?

そうよ……
誠一郎……

私たち姉妹も成人して
これから本格的に財閥を
支える立場になっていくわ

そうなるに
執事にも課せられる
業務はこれまで以上の
ものになっていく……

そんな状態で
姉妹同時に仕えるのは
不可能……
お父様は今回そう判断
したのよ……







私たちが
こんなに覚悟を
決めてるんです
もの……

あなたにも
覚悟して
もらわないと

これまでみたいに
のりくらりと
躲かせないわよ?



お……お二人とも!!
少し冷静に……!!

ちよ、ちよっと
何で距離を詰めて
きて……



ふ……!!

ふ……!!

ふ……!!



誠二郎
——ええ
郎郎??
??

きゅん



ふあ……

ふあ……

こうして突如
始まった
誠二郎の本気の
奪い合い……

誠二郎は
これから2人に
翻弄されていく
こととなる……

2人のお嬢様の
争奪戦宣言の
翌日……

誠一郎は姫華から
呼び出しを受けていた

さあ誠一郎!!
あなたに付き合っ
てもらいますわ!!

美を保つには
やはり運動をするのに
かぎりますわ!!

は……
はあ……

ゆざっ
ゆざっ

まじっ

私に倣いなさい!!
誠一郎!!

どき

どき

姫華お嬢様……
今のところいつも通り
だな……

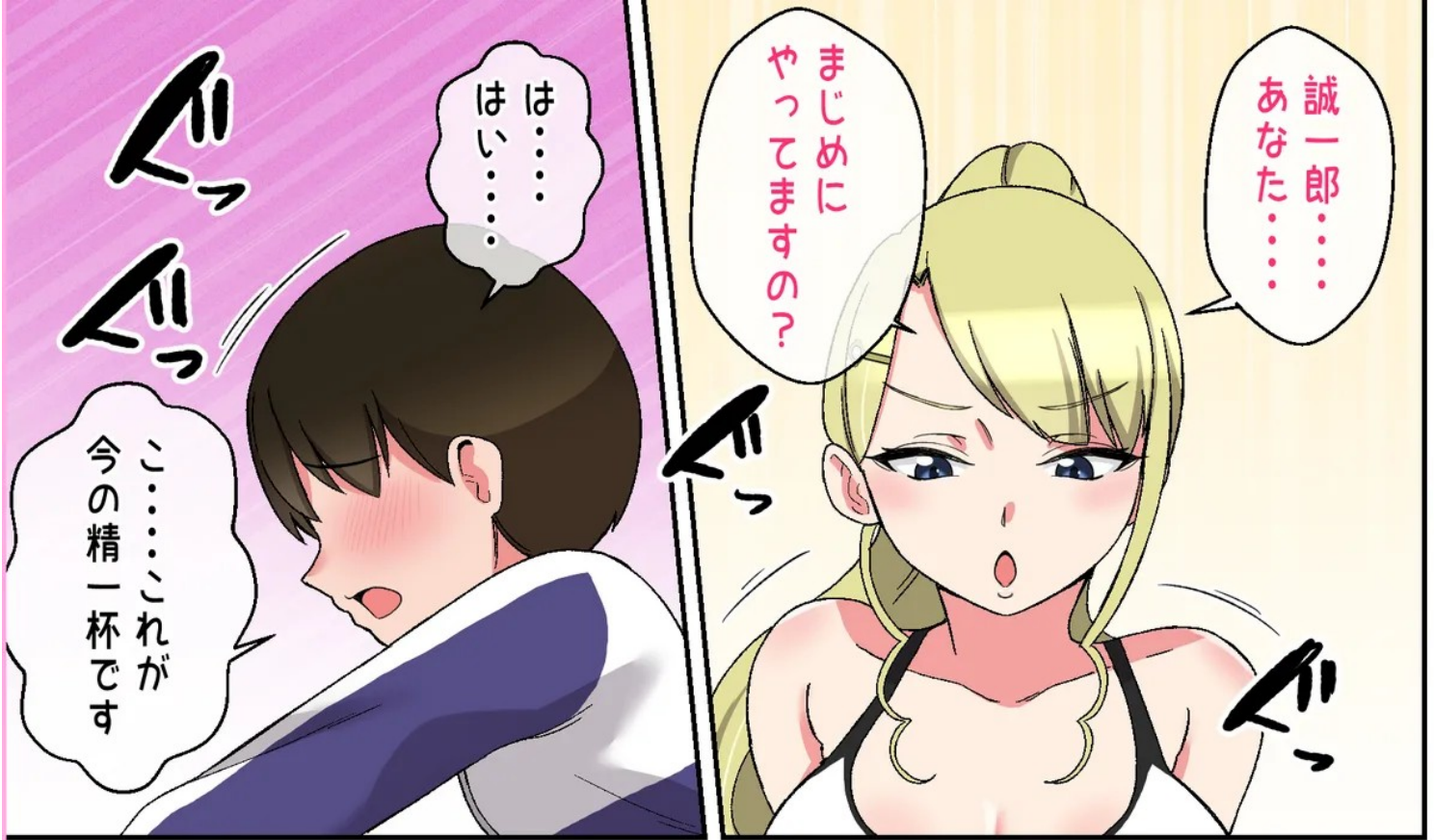
昨日は「本気を出す」と
仰ってたけど……
本気って何を……?

それじゃあ
まずは……

準備運動
しますわ!!







姫華お嬢様
一体何を……!?

いけません!!
それ以上は……!!

うふ♡
これは褌ですわよ♡
誠一郎……♡

主に欲情するような
わるうーいおちんぽ
には……

私がしっかり
罰を与えてあげませんと♡

お……お嬢様!?
そんな下品なお言葉は
一体どこで……!?

ああっ♡

そんなこと
どうでも良いじゃ
ありませんの♡

はい♡
挿乳しましたわ♡

あっ♡
私の胸の中で
びくって跳ね
ましたわ♡

こうやって動かすと……
あんっ♡もっと大きく
なっていきますわね♡

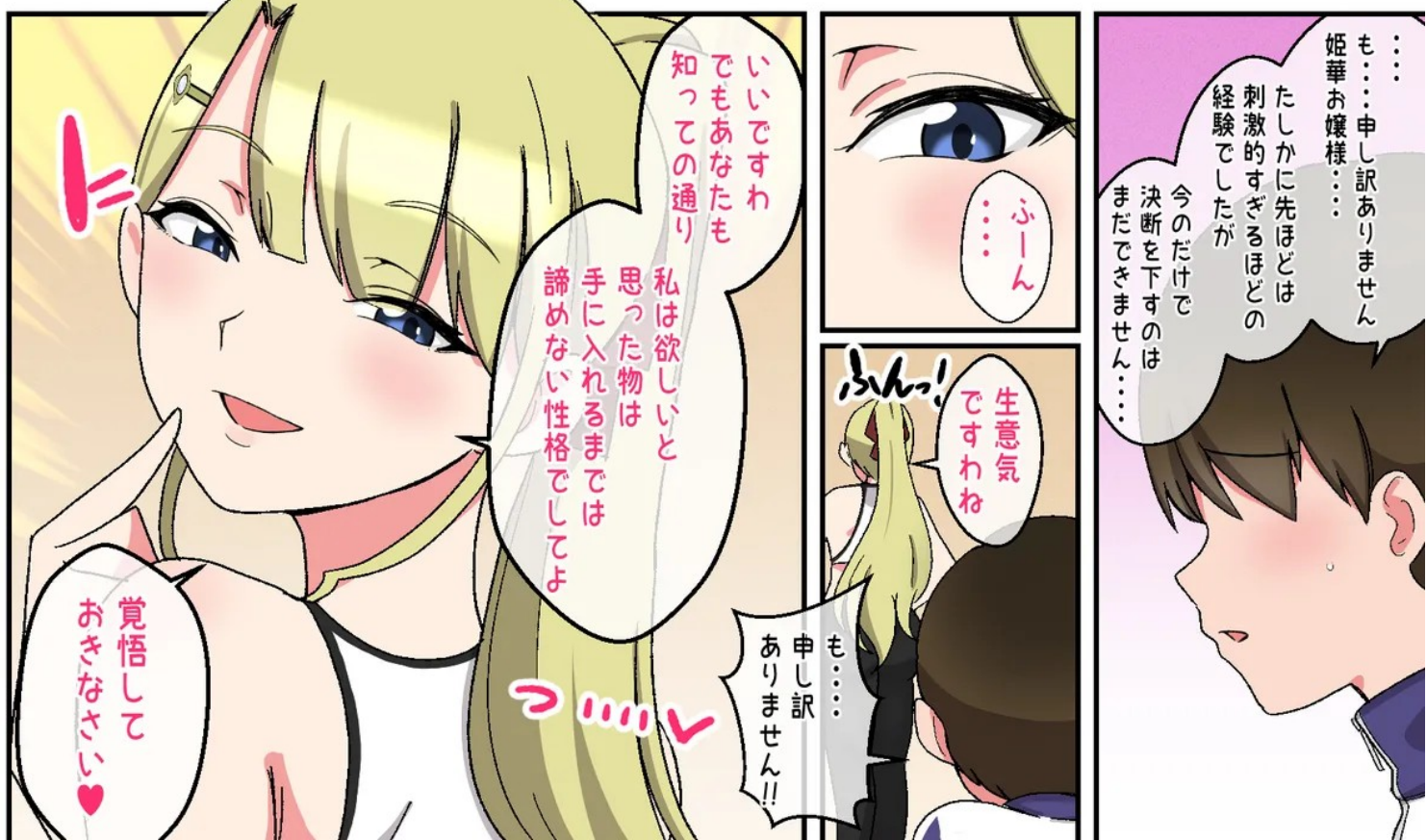
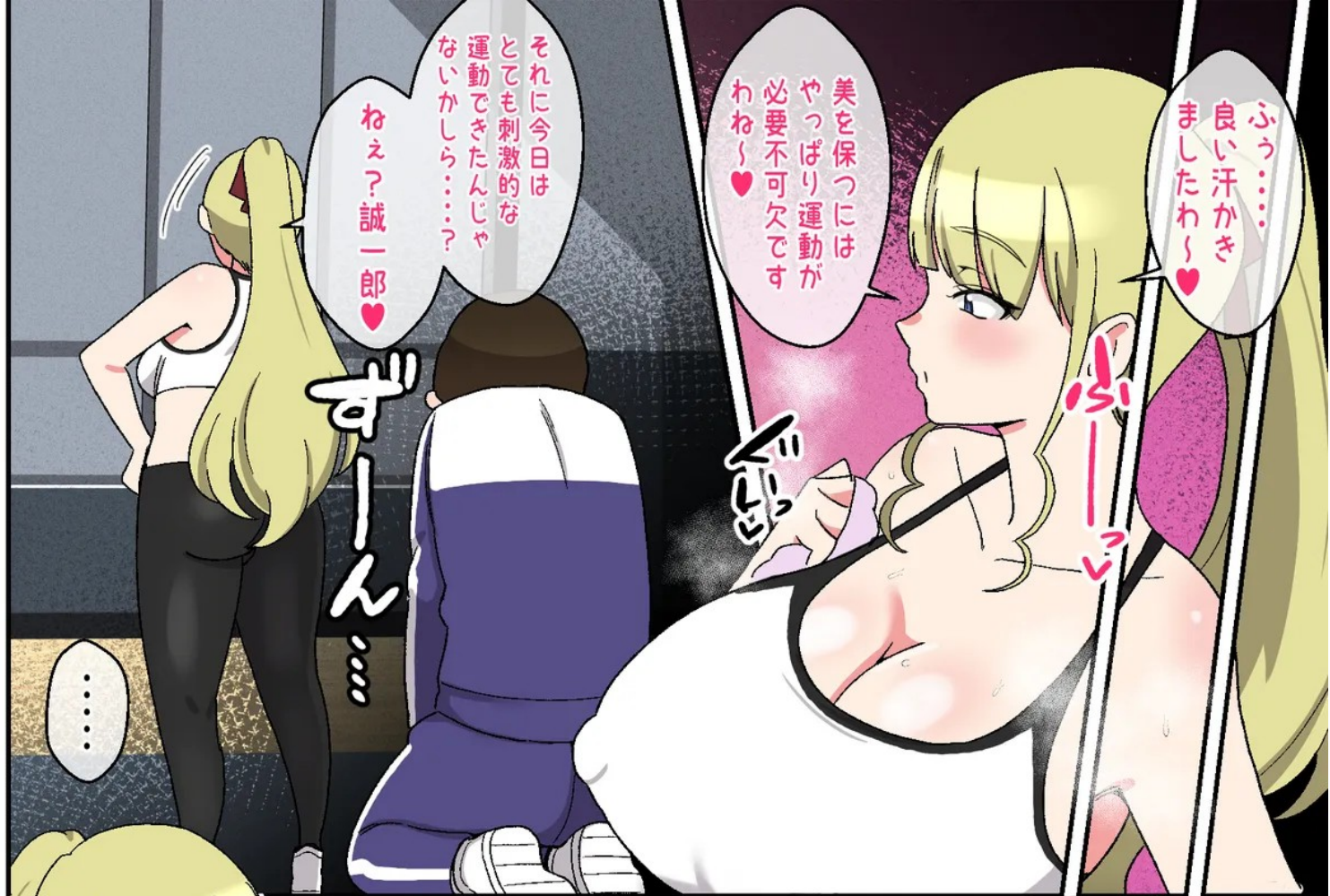
あっ♡

ほら見なさい
誠一郎……♡

私の胸に
あなたのおちんぽ
が……♡

ああっ♡

姫華お嬢様
一体どこでこんな事を
覚えたんですかー!?



姫華の強烈な
やり方に心乱された
誠一郎……

しかし
姫子もまた誠一郎を
手にするために
動き出していた

あ……あの
姫子お嬢様……？

こ……これは
一体何を……？

見ればわかる
でしょ？
あなたに私の
マッサージを
お願いしてるの
だけど？

いや……ですが
その格好は……

今日は全身に
オイルを塗って
貰うつもりだから……

こうして水着を
着てるだけじゃない

何を今更
緊張してるの
かしら……？

ですが……
なぜ僕も
水着に……？

そっちの方が
色々都合が
いいのよ

あなた昔から
私にマッサージ
してくれてたじゃない

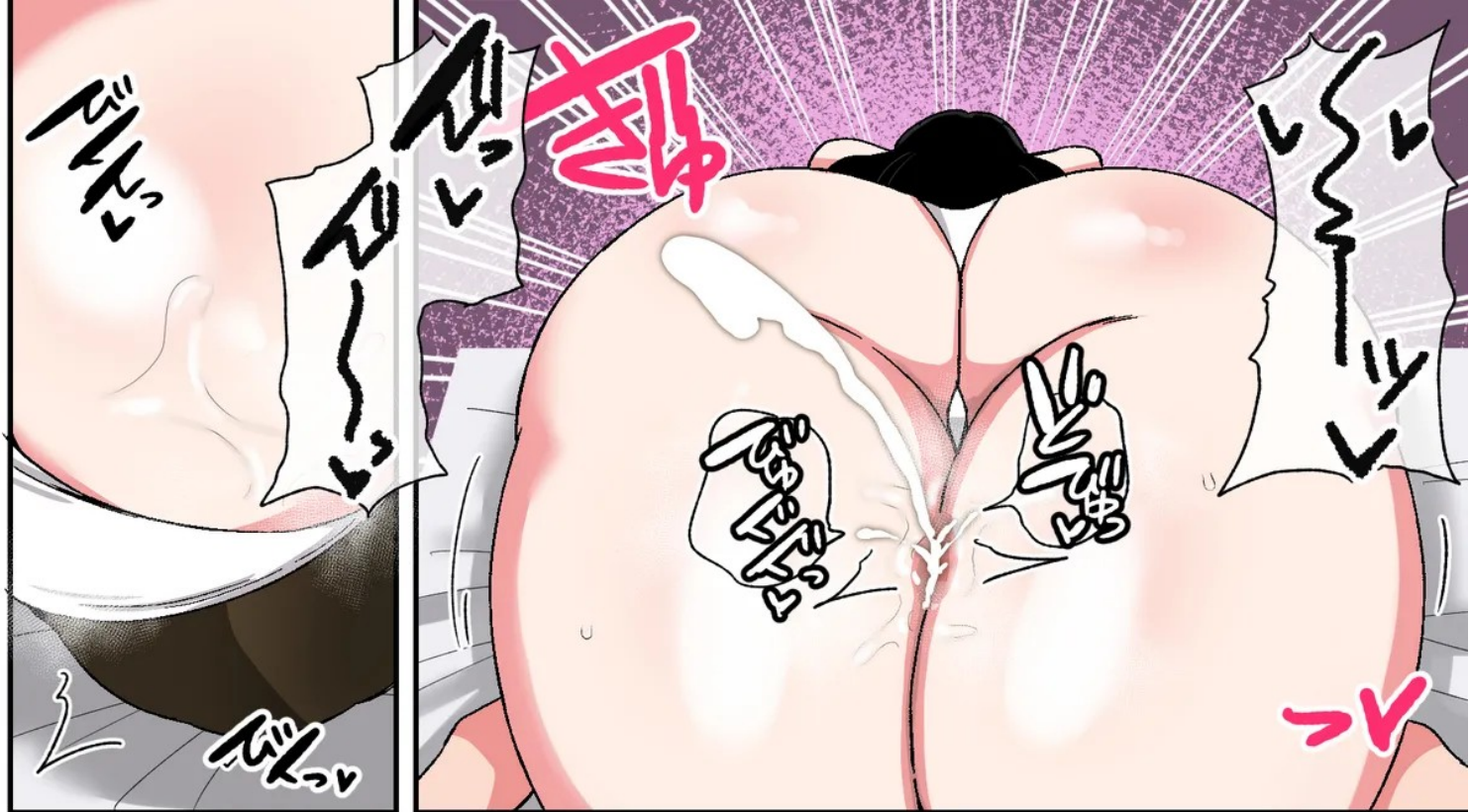
子供の頃から
私の隅々まで
触れていてしょ？

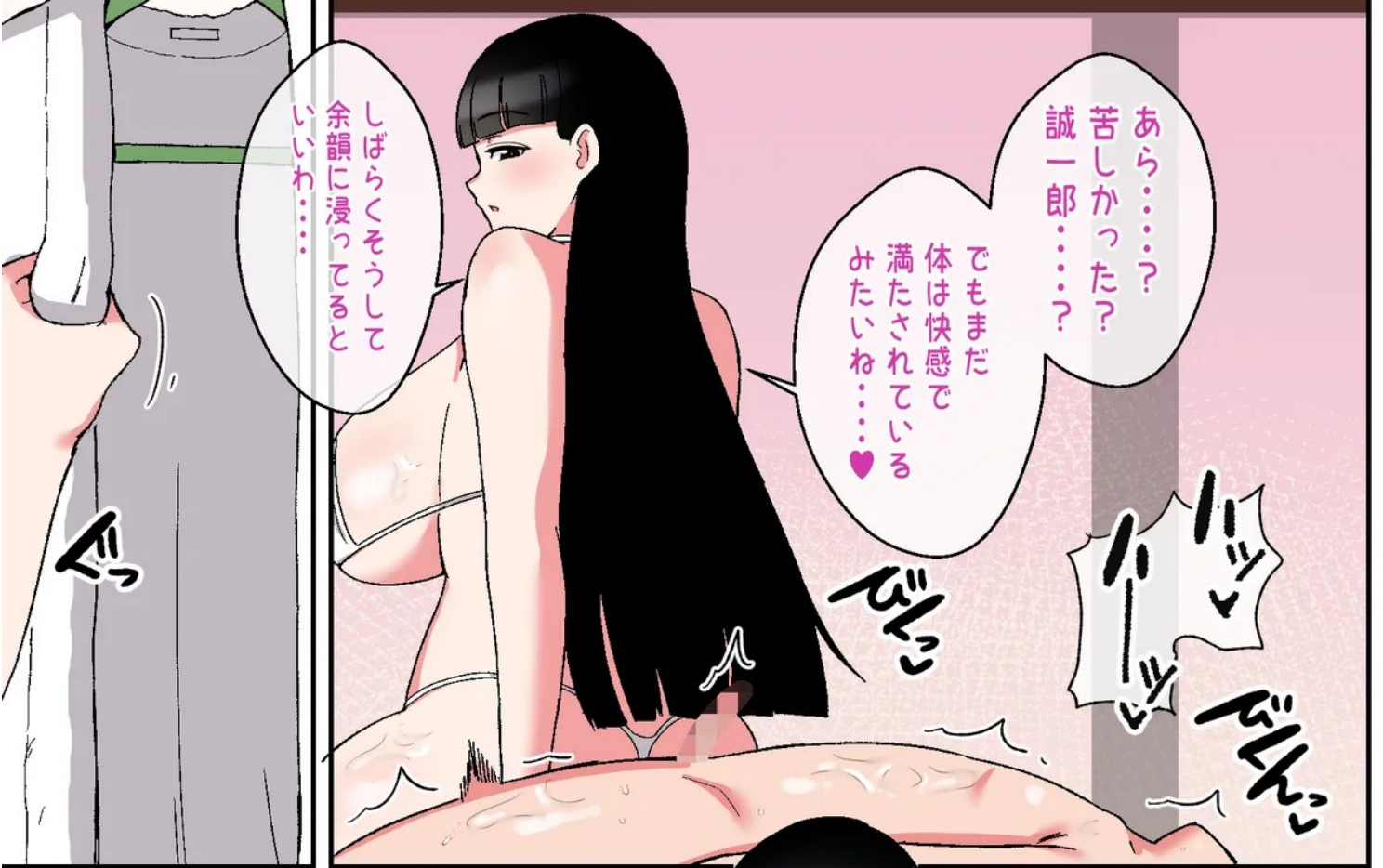
へ……変な
言い方しないで
ください!!

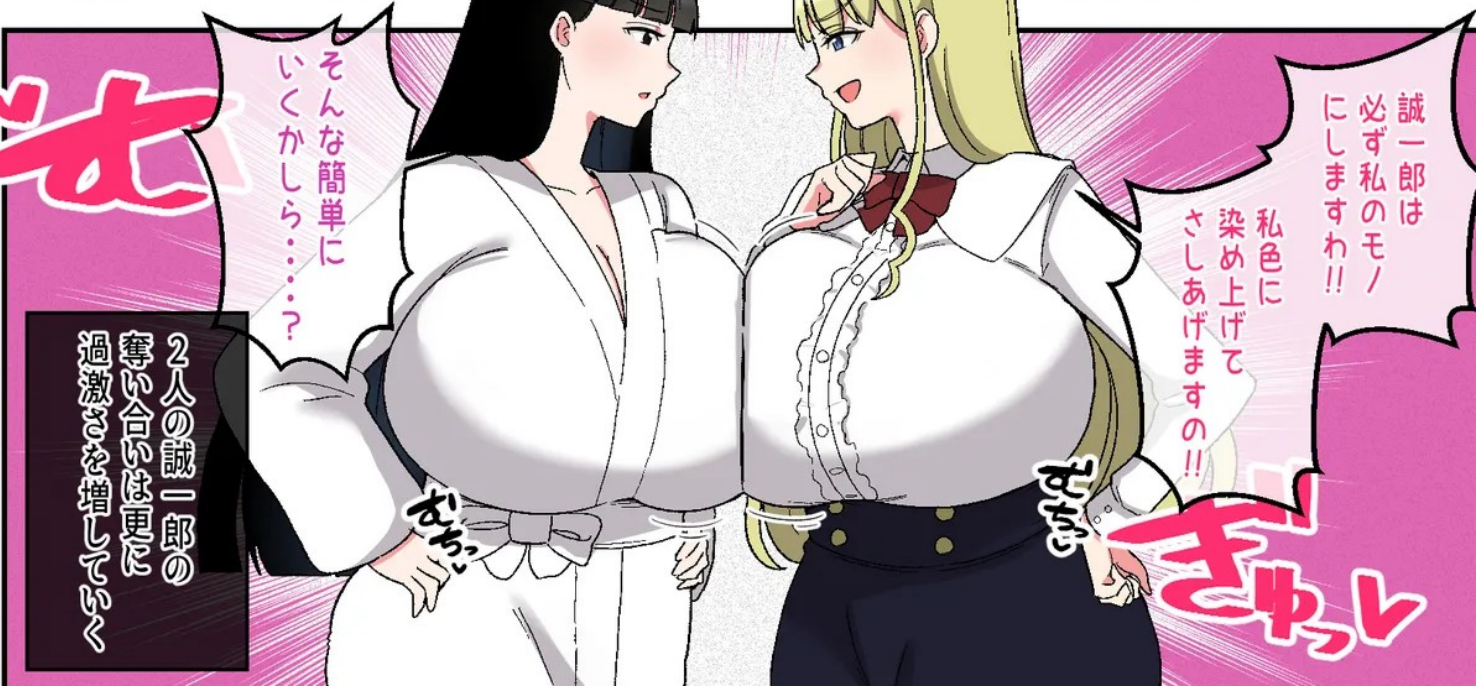
その時はお背中
だけでしたよ!!

それにお召し物も
されてたじゃない
ですか!!









誠一郎は
必ず私のモノ
にしますわ!!

私色に
染め上げて
さしあげますの!!

そんな簡単に
いくかしら……?

2人の誠一郎の
奪い合いは更に
過激さを増していく

女

ぎゅっ

二人のお嬢様による
誠一郎への積極的な
アピールは昼夜場所
を問わず行われた

ひ……姫華お嬢様!!
も……もうやめて
ください……っ

主と執事が
このような事を
……

あら?
これは私の
新しいリップの
具合を試してる
だけですね?

だから立派な
執事としての
業務ですね……♡

ほら♡
もっと口づけして
舌も出して……♡



誠一郎今夜は私と
一緒に寝なさい

あら? 誠一郎?
これは何なの
かしら?

こんなに硬くして
仕方がないわね……
主の私がしっかり管理
しないと……♡

ち……ちがつ♡
これは姫子お嬢様
が……っ♡

何? 私の
せいにするの?

主のせいにするなんて……
おしおきが必要ね……♡



命令よ
寝なさい

えっ!?
それはさすが
に……



そして二人同時に
来ることも……

ちよつと姫華!!
ながすぎよ!!
交代して!!

あっ♡ひ……
姫子お嬢様♡
そんな奥まで
……♡

ちよつと姫子!!
勝手に射精さそうと
しないでくださる?!



おっ……
お二人とも
……♡

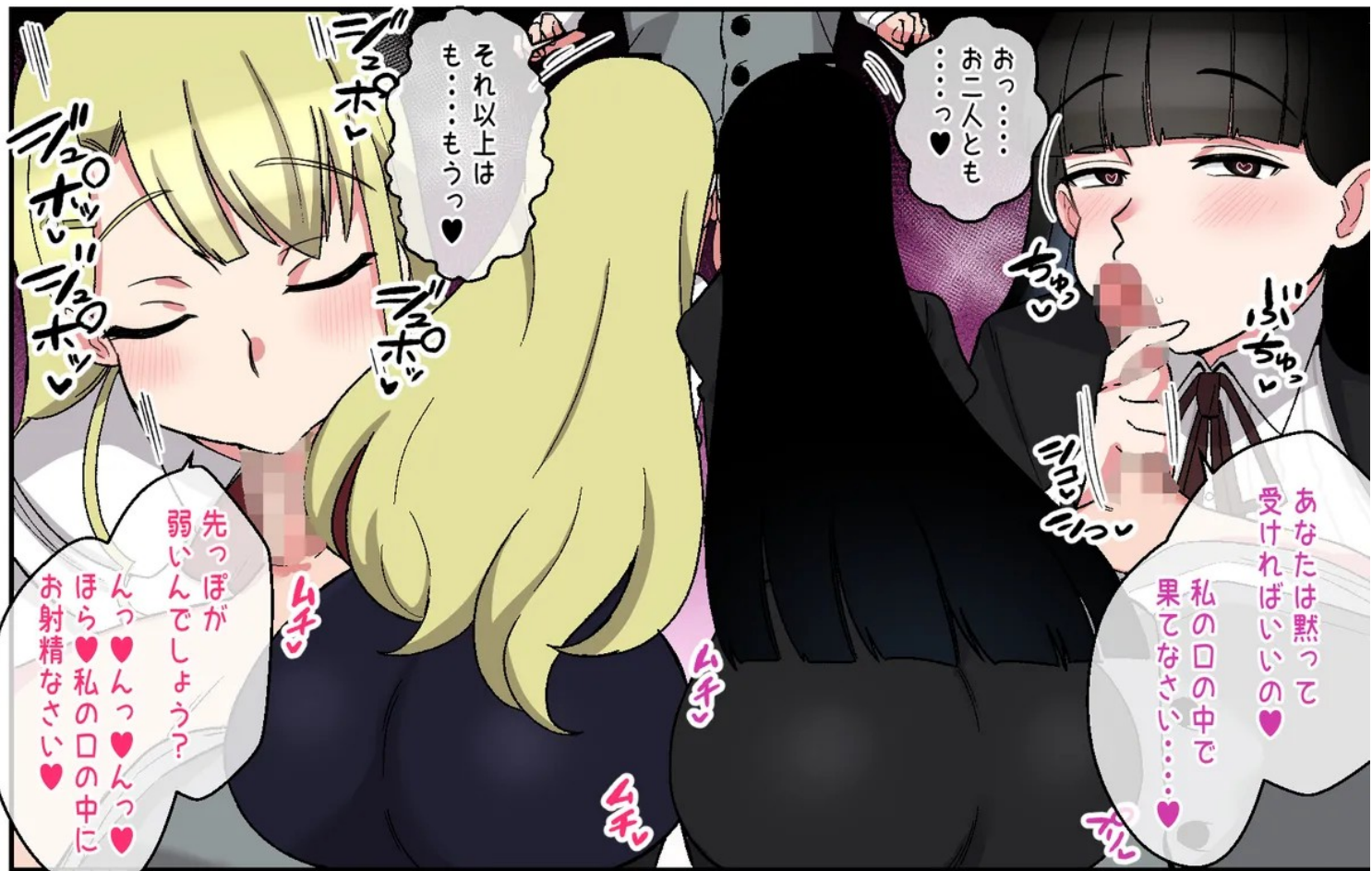
それ以上は
も……もう♡

あなたは黙って
受ければいいの♡

私の口の中で
果てなさい……♡

先っぽが
弱いんでしょう?

んっ♡んっ♡んっ♡
ほら♡私の口の中に
お射精なさい♡



あっ♡
スゴッ♡

ちよつ♡
顔にかかっ♡



誠一郎の思い出の中の
愛らしかった二人の
思い出は……

誠一郎！

誠一郎！

欲望渦巻く二人へと
塗り替えられていく……

誠一郎♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

そんな2人の間で
揺れ動く誠一郎

ふわあ

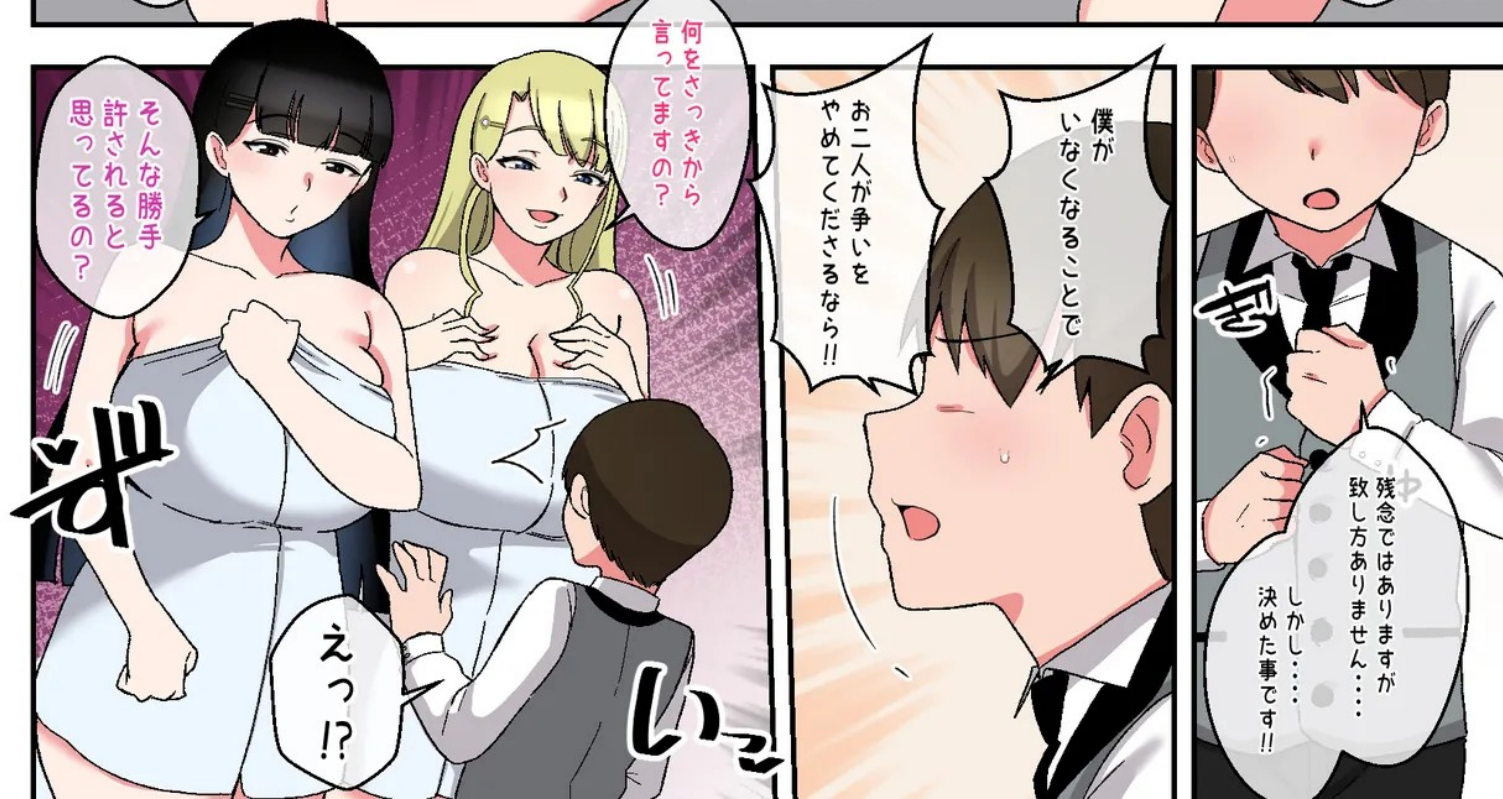
あああ……

本気の2人を
止める事は
できず……

刻一刻と
決断の時は
迫っていた

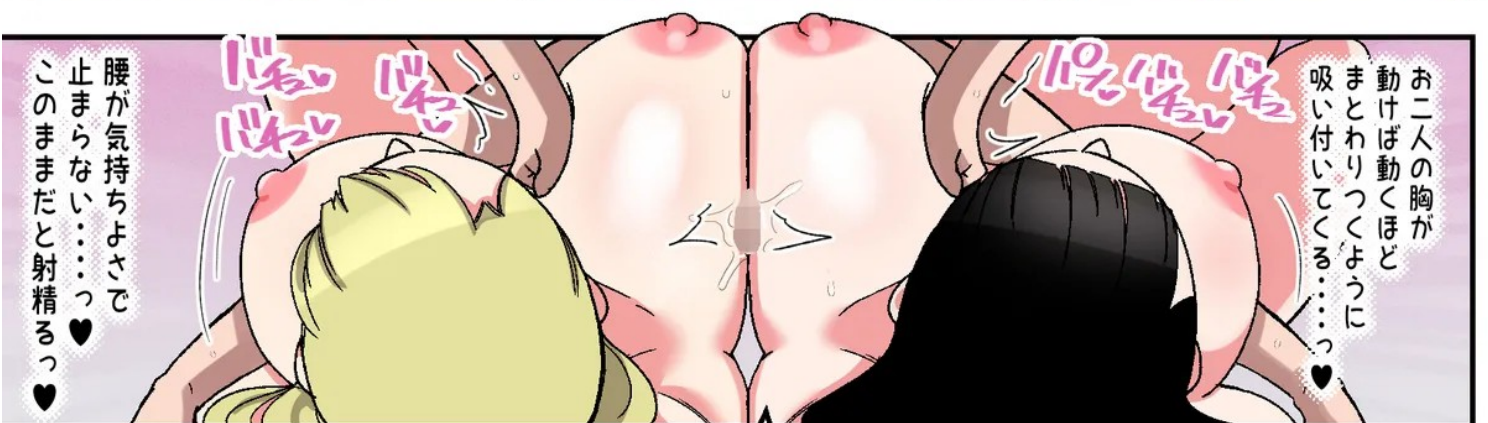
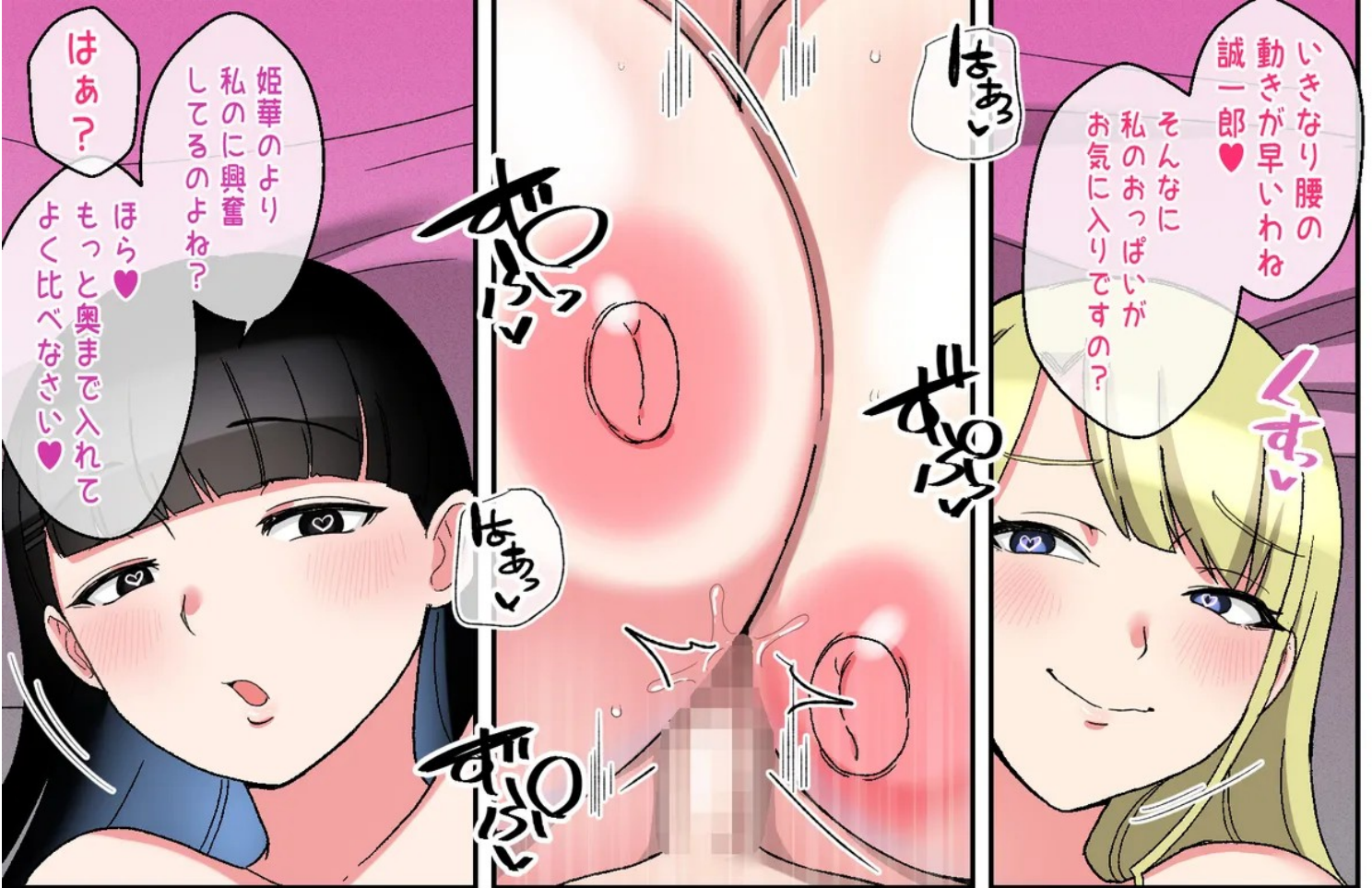
そして
誠一郎は……

ある決断を
下す……









たくさん射精
したけど……

まだこれじゃ
決められません
わよね……？
誠一郎♡

どろろ

そうね……
おっぱいだけど
まだ判断できな
いわよね……

いよいよ……
アソコで判断
してもらいませ
う……♡

ここからが
本番なんだ
から……

まだバテる
んじゃない
ありませんわ
よ……♡

さあ……
誠一郎……
どっちの方が
体の相性が良いか
……

じっくり
確かめなさい♡

ず

しゅ

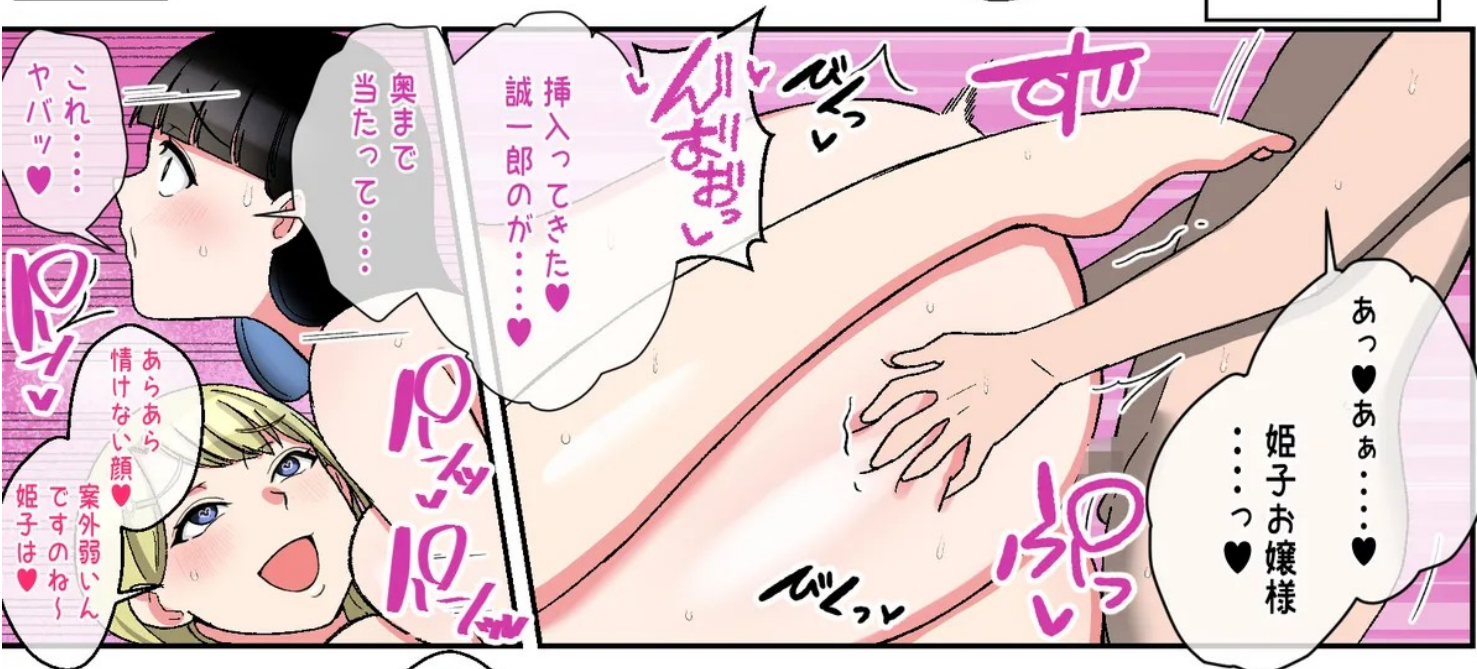
そう言い
お二人はあられもない
姿を僕に見せつけて
きた……

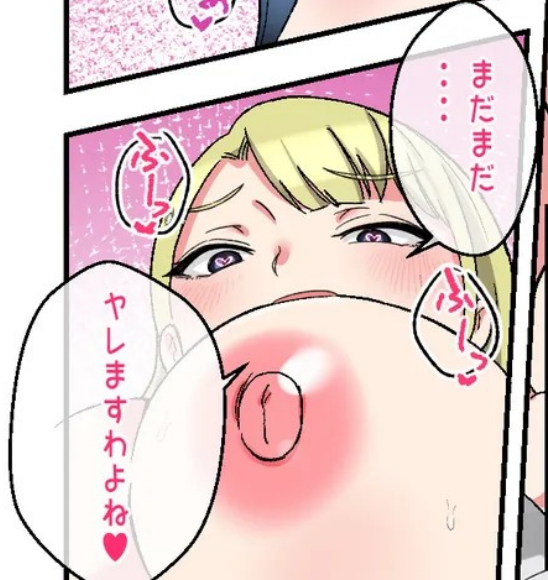
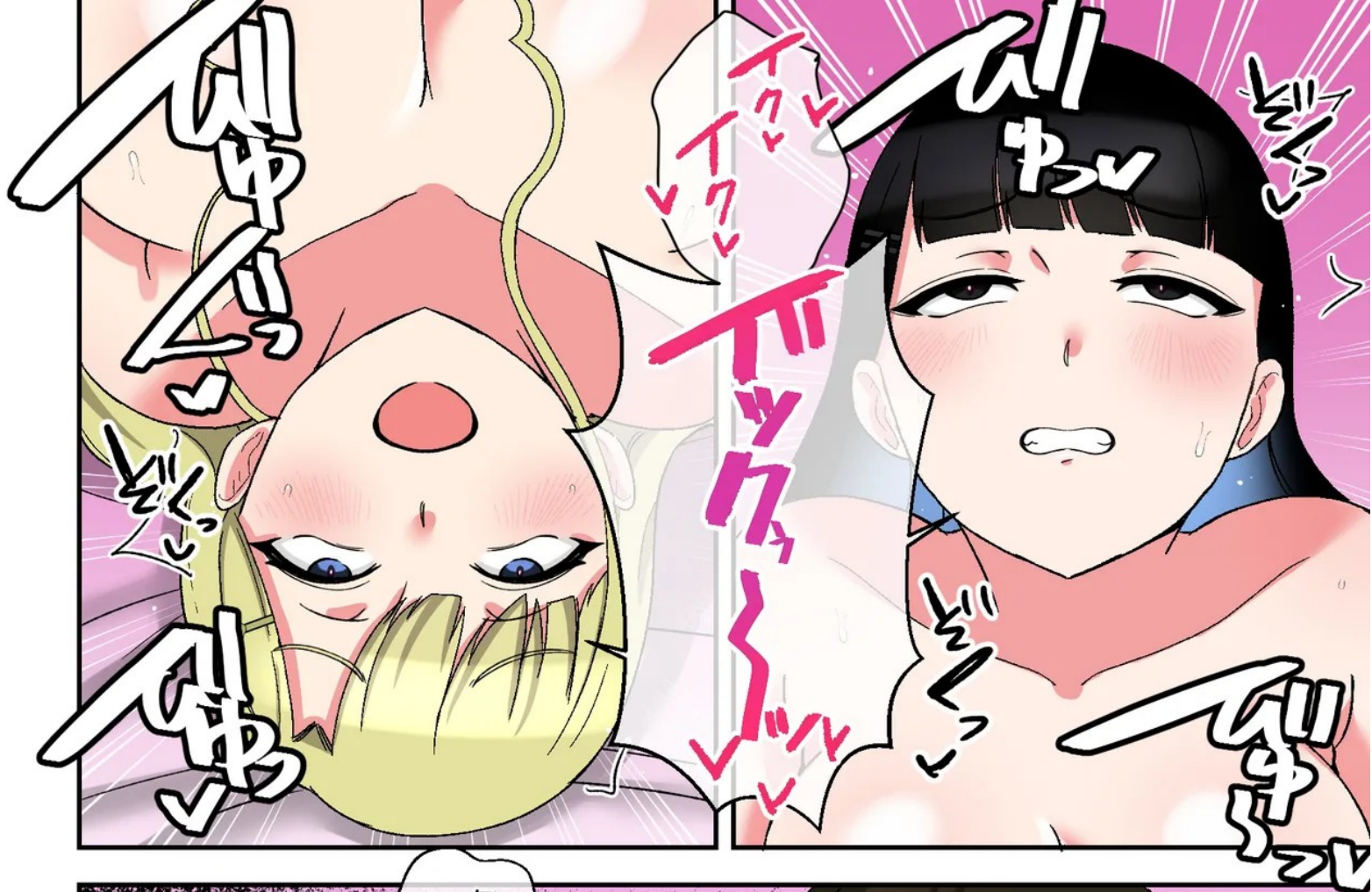
姫華お嬢様……

姫子お嬢様……

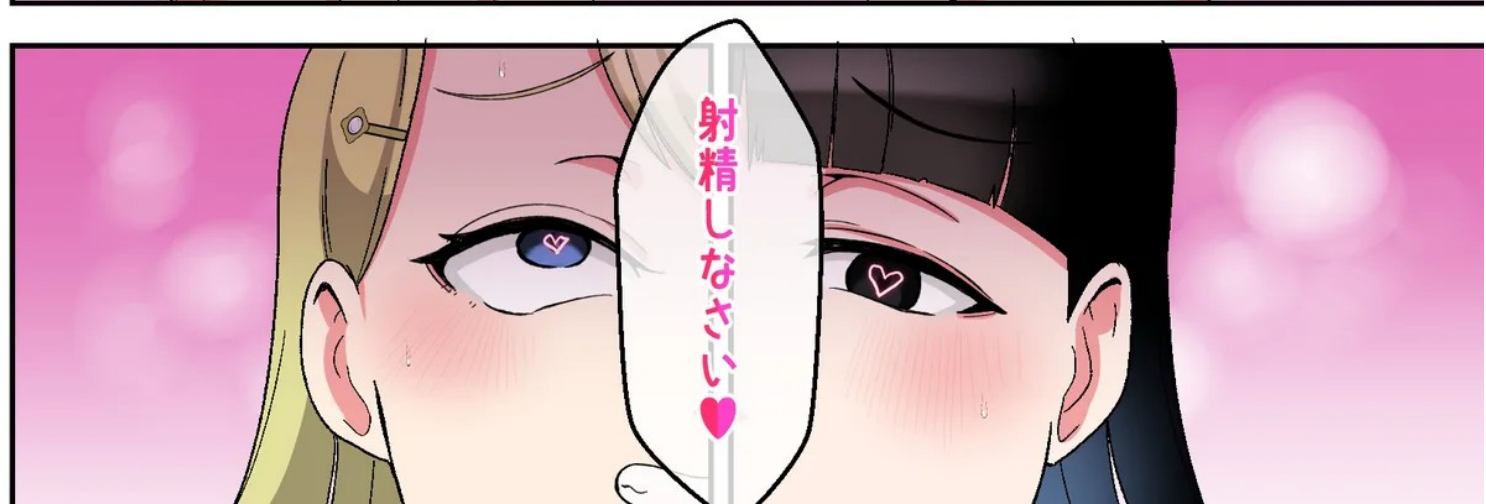
もうここま
でくると後戻り
はできない

僕も覚悟を
決めた……



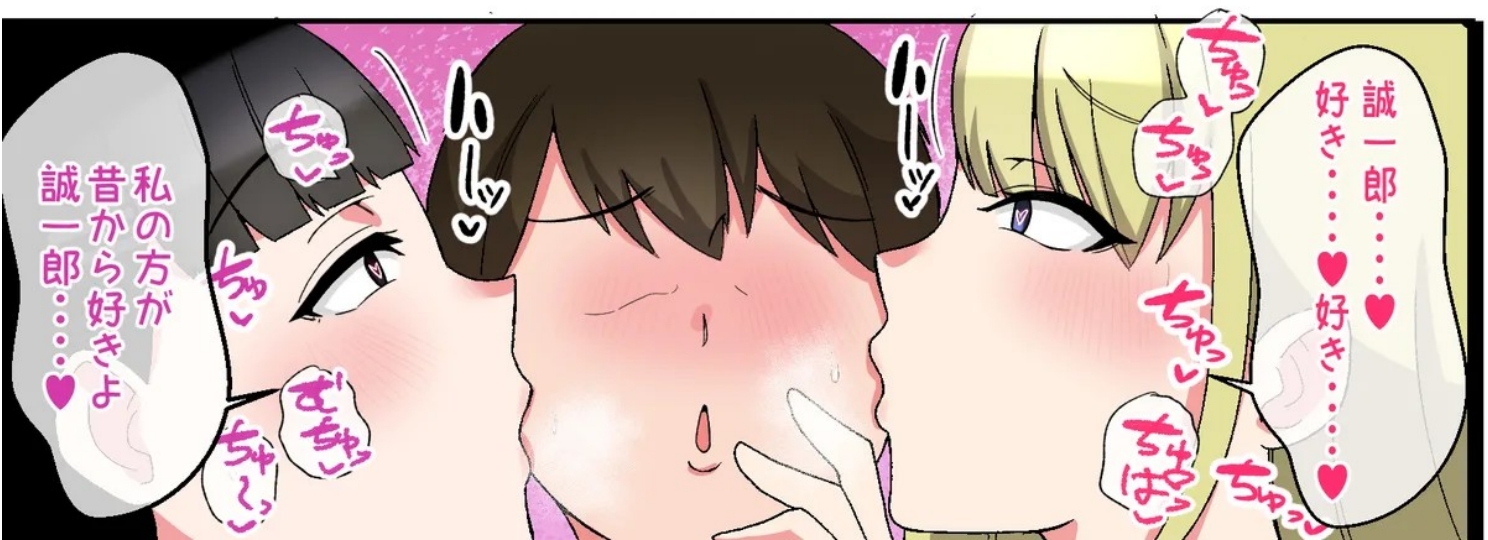


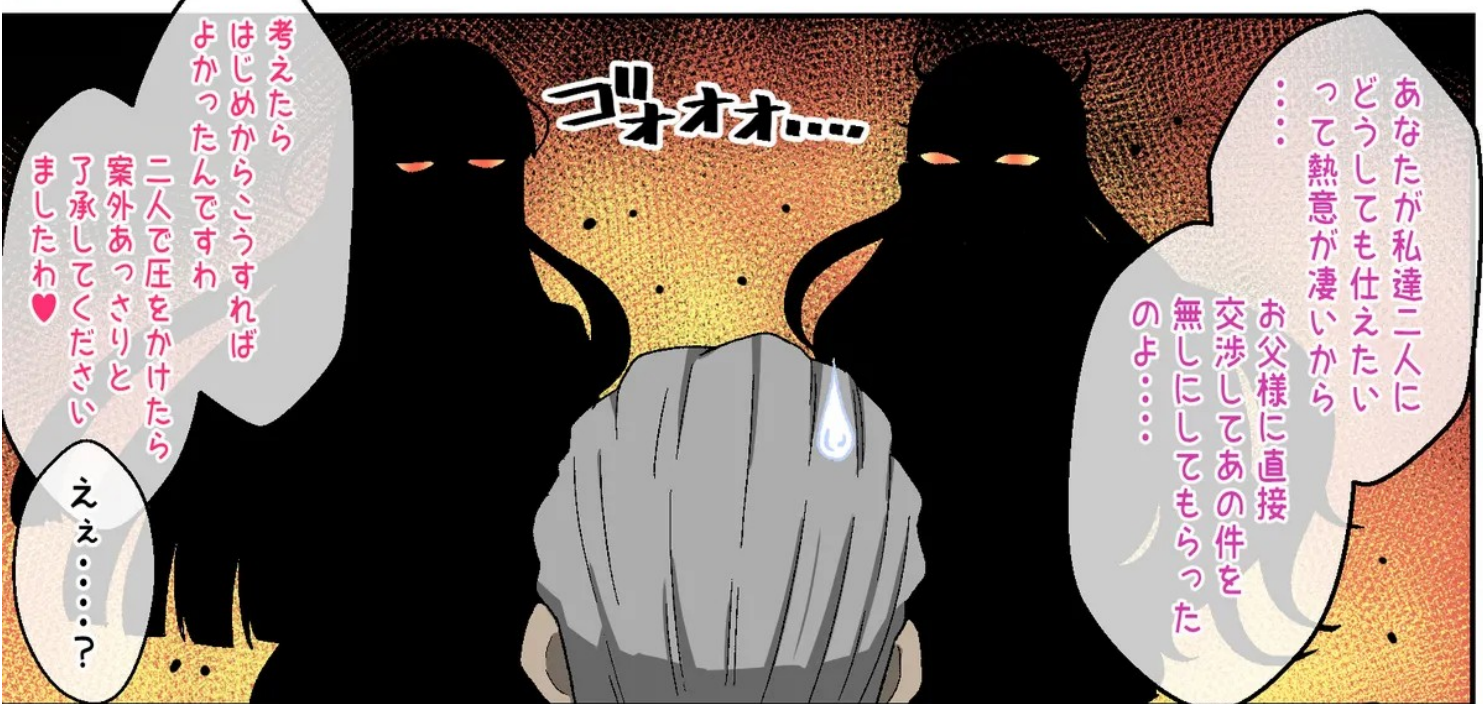






僕は最後の最後に今までで一番の快感を得ながらお二人に空っぽになるまで射精した







だから
これからは……



私たち二人の
相手……

しっかりして
もらうわよ……
誠一郎……♡

♡
グキッ
♡

♡
ぎゅっ
♡

♡
ぎゅっ
♡

♡
ぎゅっ
♡



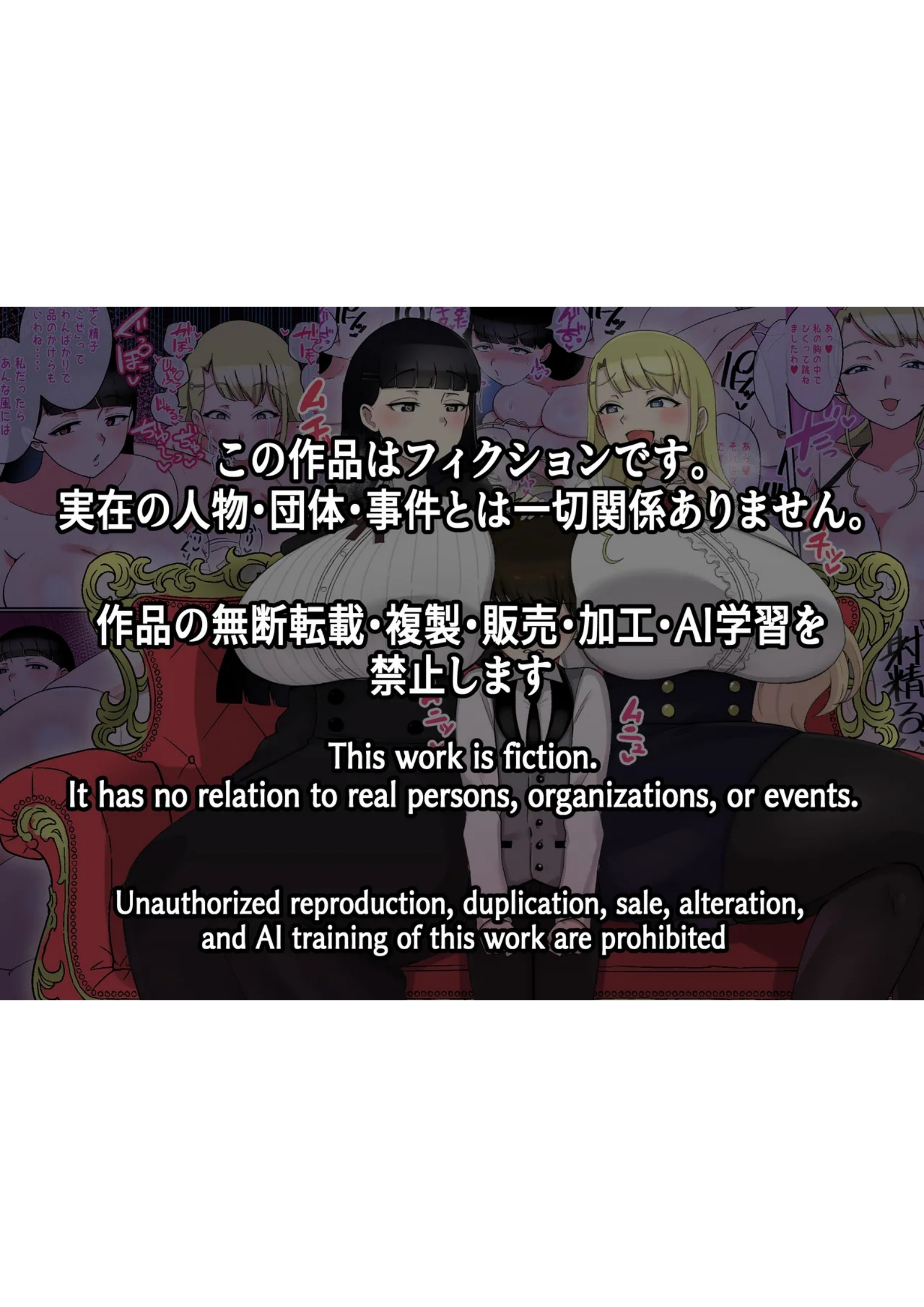
こうして二人の
お嬢様姉妹による誠一郎の
奪い合いは意外な決着で
幕を下ろしたが……

ふあ……

ふあい……

これから更に
また別の苦労が増えると
思うとやや気が遠くなる
誠一郎であった……

にゅん



**この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。**

**作品の無断転載・複製・販売・加工・AI学習を
禁止します**

**This work is fiction.
It has no relation to real persons, organizations, or events.**

**Unauthorized reproduction, duplication, sale, alteration,
and AI training of this work are prohibited**

とある財閥の「でかムチ姉妹令嬢」
その執事……



どちらの専属執事になるか
選べと言われ……



でかムチ令嬢の本気の奪い合いが開始!?

二人のお嬢様の過激な誘惑に

こが 持ちいい♡

アハハ アハハ

平常心!! 平常心!!

平常心!! 平常心!!

アハハ

先端周りりなさい...



執事は翻弄されていき……

二人のでかムチボディに圧倒され弄ばれる♡



どちらか一方を選ばない限り...



続く搾精地獄!?

お嬢様

最終判断は

セックスの相性で判断?!♡

本気だって...

あ...

あ...

今更あなたが
どうしようが
逃がやばい

それまで

お二人が諦めの悪い
姉妹だと知っていた

僕はいいよ...

さあ
誠一郎...
覚悟なさい♡

でかムチボディの姉妹令嬢に

迫られた...

さあ...
誠一郎...
どっちの方が
体の相性が良いか
...

姫華お嬢様...

姫子お嬢様...

もうここまで
くると後戻りは
出来ません
決めた...

はあ♡はあ♡
すみませんっ♡
お二人とも...♡
気持ち良さすぎて
もうイキそうですっ♡

あら♡
それはズル
ですわよ?
誠一郎♡

執事の運命は...!?

!?

私たちがより
先にイキそう
なんて...♡
私たちが
一緒に...



フルカラー
42p

でかムチお嬢様姉妹

どちらかの専属執事になるまで
毎日追われ、搾り取られるボク♡



天上院姫子
107(K)/62/98
一人称:私(わたし)

天上院財閥の令嬢で姫子の双子の姉
姉と違い黒髪で姫カットが特徴。
姉に比べると物静かな性格だが、その実計狡猾な一面もあり
姫華に劣らず負けず嫌い。有無を言わせぬ圧を發する。
姫華と同じく幼い頃から誠一郎に想いを寄せており、
姫華には誠一郎を渡したくないと思っている。

天上院姫華
108(K)/62/98
一人称:私(わたくし)

天上院財閥の令嬢で姫子の双子の姉
西洋人の母親の血を色濃く受け継いでいる容姿が特徴。
お嬢様口調で話す。
高飛車で目立ちたがり屋で意地っ張り。欲しいものは
何としてでも手に入れる性格。
幼い頃から誠一郎に想いを寄せており、何としてでも
自分の専属執事にしようとしている



誠一郎
一人称:僕

天上院姉妹に子供の頃から仕えている執事。
二人と年齢は近く一応年上。
子供の頃から仕えているため三人に対しては兄妹のような
感情も抱いている。
子供の頃は三人より身長が高かったにもかかわらず
大人になって大幅に成長した三人に対してまったく体格が変わってない。
しかし、我儘な三人の相手を昔からしてきたおかげか体力はかなりある方。